

基本情報

- 人口：34,935人
(令和7年8月時点)
- 市長：水野 光二

活動実績

- 現地訪問：1回（4/25）
- オンライン会議：5回（4/14, 4/22, 5/21, 6/20, 7/17）
- オンライン勉強会：2回（8/4, 8/19）
- 市長上京時に打合せ：5/14

地方創生支援官

※カッコ内は出向元省庁

①石徹白 康平 国土交通省 都市局総務課都市政策推進官

②国枝 玄 農林水産省 農産局農産政策部企画課長

③松田 由紀 原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 課長補佐

市の課題

○観光戦略策定

瑞浪市の強みを把握し、ターゲットを明確化した観光施策を打ち出したい。インバウンド調査事業を効果的に実施し、調査結果を観光施策の強化に活用していく。

○観光施策を推進する体制整備

市の観光施策は、瑞浪市商工観光課と瑞浪市観光協会が担っているが、両者間の連携が不十分であり、役割分担も明確化されていないため、市の観光施策を推進する体制がしっかりと構築できていない。問合せ窓口が一本化できていないことにより、効果的な情報発信ができない。



瑞浪市観光協会HPより



瑞浪市



左から①石徹白、②国枝、石破総理、③松田

支援の流れ

○現地訪問・課題の確認（4月～）

現地に赴き、観光スポットの視察や地元名産品を直接手に取って確認し、外から見た目での率直な感想・意見を提示し、課題を確認した。

○インバウンド調査事業実施にあたっての助言（6月～）

市が作成した仕様書を確認し、より効果的な調査を実施するための助言を行った。

○観光戦略策定に向けて、具体策検討のための勉強会実施（8月～）

市が詳細に検討したい項目を挙げ、その中から毎回テーマを決め、フリーディスカッションを行う勉強会を実施。

瑞浪市の概要と立地

- 名古屋市・岐阜市から約40km、公共交通機関で約50分とアクセス良好
- 東濃五市のひとつ
多治見市（たじみし）、土岐市（ときし）、瑞浪市（みずなみし）、
恵那市（えなし）、中津川市（なかつがわし）



支援テーマ

「化石も中山道も茶碗も自然も、瑞浪の魅力を発信！日本に、世界に届け！」

- 2022年に発掘された「パレオパラドキシア」の全身骨格化石、中山道の宿場町「大湫宿（おおくてじゅく）」、伝統の「地歌舞伎」、「美濃焼」、鬼岩や竜吟峡などの巨大な岩や滝が織りなす自然の絶景スポットなど瑞浪市が持っている魅力を日本だけでなく、世界に届けたいという思いで、瑞浪市の観光活性化を支援。



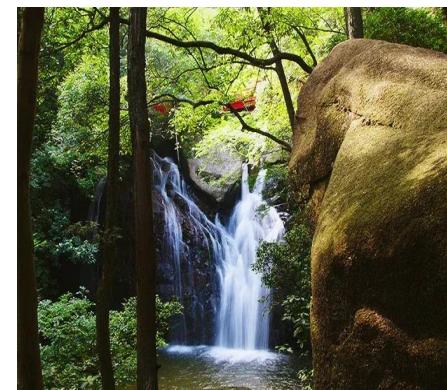
シティプロモーション動画「奇跡の化石」



中山道の宿場町
「大湫宿（おおくてじゅく）」



江戸時代から住民の間で受け
継がれてきた「地歌舞伎」



竜吟峡



①観光戦略策定に向けた調査

→ 瑞浪市の観光をめぐる強みや課題を深掘り

○瑞浪市の「インバウンド調査事業」に伴走支援官も参画 【9月以降順次】

- ・旅行会社へのヒアリング：外国人観光客に訴求できる市内の観光資源や観光地の課題を調査
- ・市内観光施設（大湫宿や相生座等）での定点アンケート調査：来訪属性、満足度、消費額等を調査

○近隣自治体等へのヒアリング・視察 【10月頃想定】

- ・インバウンド観光への取組が進んでいる近隣自治体（中津川市、恵那市、多治見市等）へのヒアリング・視察
- ・今年度、瑞浪市内のインバウンド向けの着地型旅行商品造成に取り組んでいる旅行会社へのヒアリング・視察

②観光戦略策定

→ 上記①を踏まえた観光戦略と体制の整備

○瑞浪市の今後の観光施策に関する方向性を市と検討・決定 【年内】

- ・誘客ターゲットの設定、情報発信・プロモーションのあり方、消費額増加への取組や広域連携など

○あわせて、市と観光協会の役割分担を明確化し、観光施策を推進する体制を整備 【年内】

③新規施策の立案

→ 来年度実施する瑞浪市の新規事業を立案

○伴走支援官から新規施策の提案、市とのすり合わせ 【年内】

○瑞浪市の予算編成において事業化 【年度内】

※実際の取り組みにあたっては必要に応じて国の予算支援を活用